

活動テーマ

令和5年度
エコ・スクール活動報告書

身近な町をきれいにしよう

地域に根ざした学校づくりの理念のもと、学校周辺の校外清掃活動を通して、奉仕の精神を養うとともに、環境美化に対する意識の高揚を図る。これらから社会で生きるための豊かな人間性を育む。また、地域に愛される学校をめざし、清掃中に会う人と挨拶をするなど交流に努め、社会の一員としての自覚の涵養を図る。

1 学校紹介

大津インターの真下、琵琶湖を一望できる小高い丘に位置している。自立を促し、社会に出て活躍できる人材育成を目標に教育活動を行っている。令和4年度より新しい教育課程の学びが始まり、学科は普通科、類型はⅡ類・Ⅰ類の2つとなった。国公立、難関私学を目指すⅡ類と総合進学コース、スポーツ健康コース、生活デザインコースの3つのコースを持ち多種多様な進路実現を可能にするⅠ類がある。文武両道をモットーにしており、多くの生徒が勉強に部活動に全力で取り組んでいる。



2 エコフオスターとは

エコフオスターとは、エコ（環境）とフオスター（育成する）を結びつけ、環境こだわり県・滋賀を表す「淡海」を冠した造語です。公共の場所の美化および保全のため、県民、事業者等が当該場所を愛情と責任を持ってボランティアで清掃する制度です。（淡海エコフオスター制度パンフレットより）

3 活動内容

エコフオスター実施1週間前に学年・生徒会などの対象教員・生徒と話し合い実施コースの決定をする。実施2日前には生徒に持ち物の確認とコースの説明をする。エコフオスター当日は、最後に分別しやすいようにゴミの担当を決めるなど、コミュニケーションを取りながら一生懸命取り組んでいた様子が見られた。また、地域の方々とも挨拶をかわし、交流に努めている。エコフオスター終了後、各自ゴミの分別をし、感想文を書いた。

校内でもごみの分別をし、ペットボトルも感染症対策のために洗浄した後、キャップ・ラベル・本体に分けている。キャップはエコキャップ推進活動をしている企業に送り、世界の子供たちにワクチンを贈る活動に貢献している。（今年度は令和6年3月に送付予定である）



<参加生徒>

第1学年及び環境整備委員や生徒会執行部など有志生徒

<活動期間>

年間1回(1年生全員)+生徒会執行部として1回
令和5年度は、1年生が4月にオリエンテーションの一環として実施した。また、生徒会執行部による活動を令和5年6月に行ったが、次回は令和6年3月に実施する予定である

<実施区域(県からの依頼区域)事前に3コースの設定あり>

コース① 県道56号線(大津IC取り付け)

コース② 県道103号線(県庁前)

コース③ 大津駅中央通りの一部



4 子どもの変容

活動を通じて、地域住民の方々との交流も生まれている。生徒は、登下校で通る道に多くのゴミが落ちていることに改めて驚き、公共の場にゴミを捨てる人の存在に大きな問題意識を抱いていた。活動後は、ゴミの分別が丁寧に行われるようになり、登下校中、自発的にゴミ拾いを行う生徒の姿も増えるなど、生徒の環境美化に関する意識が高まる結果となった。

5 今後の課題

授業時間内では、ゴミ拾いに行ける範囲が限られているため、生徒会執行部や委員会、学年と連携を取り、清掃範囲を拡大していきたいと考えている。また、これ以外にも県がおこなっている清掃活動や地域の方々との清掃にも積極的に参加をするよう促していく予定である。

6 その他清掃活動

今年度は実施できず。

学校名	学校法人純美禮学園 滋賀短期大学附属高等学校
住所	大津市朝日が丘1丁目18-1
電話番号	077-522-3465
E-mail	sghs-jim@sumire.ac.jp